

平成25年第3回

おいらせ町議会定例会

決算特別委員会

記録第2号

おいらせ町議会 平成25年決算特別委員会記録

おいらせ町議会 平成25年決算特別委員会記録第2号				
招集年月日	平成25年9月13日(金)			
招集の場所	おいらせ町役場本庁舎議場			
開 会	平成25年9月13日 午前10時00分 委員長宣告			
閉 会	平成25年9月13日 午後 0時23分 委員長宣告			
出席委員	氏 名		氏 名	
	高坂隆雄		田中正一	
	平野敏彦		日野口和子	
	川口弘治		袴田信男	
	沼端 務		澤頭好孝	
	立花國雄		柏崎利信	
	西館秀雄		松林義光	
	馬場正治			
(立花國雄委員は午前11時15分から出席)				
欠席委員	檜山 忠 吉村敏文 佐々木光雄			
会議事件説明 のため出席 した者の 職 氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	町 長	成田 隆	副 町 長	西館芳信
	分庁サービス課長	澤上 訓	総 務 課 長	松林由範
	環境保健課長	小向道彦	企画財政課長	小向仁生
	介護福祉課長	松林泰之	行政管財課長	田中富栄
	農林水産課長	泉山裕一	まちづくり防災課長	中野重男
	商工観光課長	澤田常男	税 務 課 長	松林光弘
	教 育 長	袴田健志	教育委員会委員長	加藤正志
	町 民 課 長	柏崎正光	学 務 課 長	堤 克人
	地域整備課長	倉館広美	社会教育・体育課長	北向 勝
	会 計 管 理 者	柏崎尚生	農業委員会会長	中川原卓雄
	農業委員会事務局長	泉山裕一	選挙管理委員会事務局長	田中富栄
	病院事務長	山崎悠治	監査委員事務局長	袴田光雄
	監 査 委 員	名古屋 誠一		

職務のため 出席した者の 職 氏 名	事 務 局 長	袴 田 光 雄	事 務 局 次 長	小 向 正 志
	臨 時 職 員	坂井田 五 月		
事 件 題 目	1. 認定第1号 平成24年度おいらせ町一般会計歳入歳出決算認定について			
	2. 認定第2号 平成24年度おいらせ町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について			
	3. 認定第3号 平成24年度おいらせ町奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について			
	4. 認定第4号 平成24年度おいらせ町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について			
	5. 認定第5号 平成24年度おいらせ町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について			
	6. 認定第6号 平成24年度おいらせ町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について			
	7. 認定第7号 平成24年度おいらせ町霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について			
	8. 認定第8号 平成24年度おいらせ町公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算認定について			
	9. 認定第9号 平成24年度おいらせ町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について			
	10. 認定第10号 平成24年度おいらせ町病院事業会計決算認定について			
	…………以下余白…………			

発 言 者	発 言 者 の 要 旨
事務局長 (袴田光雄君)	<p>おはようございます。</p> <p>修礼を行いますので、ご起立願います。</p> <p>礼。ご着席ください。</p>
柏崎委員長	<p>改めておはようございます。</p> <p>ただいまの出席委員数は12人です。</p> <p>定足数に達しておりますので、直ちに決算特別委員会を開きます。</p> <p>なお、檜山 忠委員並びに佐々木光雄委員、また、吉村敏文委員は欠席であります。</p> <p>立花園雄委員は若干おくれるとの連絡がございました。</p> <p>選挙管理委員長は、本日、所用のため欠席との申し出がありましたので、ご報告いたします。</p> <p style="text-align: right;">(開会時刻 午前10時00分)</p>
柏崎委員長	<p>議事に入る前に、昨日の教育長の答弁について訂正したい旨、教育長から申し入れがありましたので、これを許します。</p> <p>教育長。</p>
教育長 (袴田健志君)	<p>貴重な時間、恐縮でございます。</p> <p>昨日の私の答弁について、1つ訂正をさせていただきます。</p> <p>西舘秀雄委員からの教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書についてのご質問の中で、アドバイザーの人数を3人以内としているが、もう少しふやしたらどうかというご提言がありましたが、それについて私が、人数は国の法令の定めなのでと申し上げましたけれども、国の法令の規定ではなく、当教育委員会が定めている実施要領の規定でありましたので、誤った答弁でありました。おわびして訂正申し上げます。まことに申しわけありませんでした。</p> <p>したがって、もしそのほうが望ましいということであれば、実施要領の改定で済みますので、今後、教育委員会あるいは識者のご意見などを伺いながら検討してみたいと思っております。</p> <p>なお、現アドバイザーの3人の方の任期中は、このままであるべきものと思っております。</p> <p>以上、訂正させていただきました。ありがとうございます。</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>西館委員、よろしいですか。</p> <p>これより議事に入ります。</p> <p>本委員会に付託されました認定第1号から認定第10号までの10認定議案のうち、昨日は、認定第1号、平成24年度おいらせ町一般会計歳入歳出決算認定についての審査が終わっています。</p> <p>よって、本日は、認定第2号、平成24年度おいらせ町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についての審査を行うこととなります。</p> <p>これから議事に入ります。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>認定第2号、平成24年度おいらせ町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてを議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>会計管理者。</p>
<p>会計管理者 (柏崎尚生君)</p>	<p>それでは、認定第2号についてご説明いたします。</p> <p>きのうと同じように、主要施策の成果の内容を見ながら説明していきます。</p> <p>主要施策の成果の117ページをごらんください。</p> <p>まず、決算規模でございます。</p> <p>第1表、決算規模及び収支の推移をご参照ください。</p> <p>区分の欄、歳入決算額でございます。右端に記載の平成24年度決算額は29億2,204万2,000円で、前年度比2%の増となっております。</p> <p>歳出決算額は28億7,464万円で、2%の増となっております。</p> <p>歳入歳出差引額は4,740万2,000円の決算額となりました。</p> <p>続きまして、第2表、歳入決算額の状況をご参照ください。</p> <p>1款、国民健康保険税は7億6,291万3,000円で、前年度比2,944万4,000円、3.7%の減となっております。3款、国庫支出金は8億4,875万3,000円で、前年度比2,696万円、3.3%の増となっております。4款、療養給付費交付金は1億4,702万7,000円で、前年度比2,660万5,000円、22.1%の増となっております。5款、前期高齢者交付金は3億8,839万円で、前年度比1,506万6,000円、4%の増となっております。6款、県支出金は1億6,793万2,000円で、前年度比4,531万9,000円、37%の増となっております。7款、共同事業交付金は3億4,381万7,000円で、前年度比2,634万4,000円、8.3%の増となっております。9款、繰入金は2億897万3,000円で、前年度比72万8,000円、0.3%の増となっております。</p>

歳入合計は29億2,204万2,000円で、前年度に比較して5,646万4,000円、2%の増となっております。

続きまして、118ページの第3表、歳出決算額の状態をご参照ください。

2款、保険給付費は17億8,199万1,000円で、前年度比4,817万2,000円、2.8%の増でございます。3款、後期高齢者支援金等は4億264万6,000円で、前年度比2,207万5,000円、5.8%の増となっております。6款、介護給付金は1億9,204万5,000円で、前年度比605万8,000円、3.3%の増となっております。7款、共同事業拠出金は3億4,221万9,000円で、前年度比248万5,000円、0.7%の減でございます。8款、保健事業費は2,564万8,000円で、前年度比68万5,000円、2.7%の増でございます。9款、基金積立金は3,981万9,000円で、前年度比2,684万1,000円、40.3%の減でございます。11款、諸支出金は3,729万8,000円で、前年度比1,725万5,000円、86.1%の増でございます。

歳出合計は28億7,464万円で、前年度に比較して5,671万9,000円、2,000円の増となっております。

続きまして、第4表、国民健康保険税の状態をご参照ください。

(1) 現年課税分の平成24年度収入額合計は6億8,668万4,000円の決算額で、収納率は85.9%となっております。前年度と比較しますと、収入額で3,263万1,000円の減となっております。

次に、(2) 不納欠損の状態は、地方税法第15条の7関係、地方税法第18条関係の合計で、285件で2,254万4,669円の欠損額で、ここには表はありませんが、前年度と比較しますと、件数で123件、金額で784万3,257円の減となっております。

続きまして、119ページの第7表、保険給付状況をご参照ください。

療養給付費は15億5,469万2,000円で、前年度比2,893万2,000円、1.9%の増、療養費は1,293万6,000円で、前年度比85万3,000円、6.2%の減、高額療養費は1億8,503万8,000円で、前年度比1,330万4,000円、7.7%の増、出産育児一時金は2,043万円で、前年度比588万円、40.4%の増、葬祭費は290万円で、前年度比85万円、41.5%の増となっております。保険給付合計では17億7,599万6,000円で、前年度比、件数で431件、金額で4,811万3,000円の2.8%の増となっております。

以上で説明を終わります。

<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p> <p>質疑は、事項別明細書により行います。</p> <p>歳入歳出決算のうち、歳入全款についての質疑を行います。</p> <p>11ページから20ページでございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>なしと認め、歳入全款についての質疑を終わります。</p> <p>次に、歳出全款についての質疑を受けます。</p> <p>21ページから37ページでございます。</p> <p>高坂委員。</p>
<p>高坂隆雄委員</p>	<p>21ページ、総務費の一般管理費、給料のところでお尋ねをします。</p> <p>きのうも一般会計の中の給料のところ、職員採用の書類の関係をお尋ねしました。</p> <p>1日たってきょう、先ほどの教育長みたいな感じで総務課長からきのうの質問を受けて調べた結果を報告してくれるのかなと思っておりましたが、なかったので、今質問します。</p> <p>職員採用については、きのうの答弁では2種の公文書扱い、10年間保存するということでした。</p> <p>私、具体的に防犯協会、介護福祉職の不祥事にかかわった職員の書類があるのかというお尋ねをしてあります。そのことについて、結果はどうだったかお知らせください。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>総務課長。</p>
<p>総務課長 (松林由範君)</p>	<p>お答えをいたします。</p> <p>担当課長補佐に調査をさせておりますが、現在のところ、本来あるべき場所にはまだ確認をできておりません。よって、もう少し確認の範囲を広げて、引き続き確認を続けたいということでございますので、その結果がわかった時点で、高坂委員にはご報告したいと思っております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>高坂委員。</p>

なしの声

高坂隆雄委員	<p>それはお待ちします。お待ちしますが、本来ある場所にないというのがそもそもおかしいのではないかなと思います。</p> <p>公文書、いろんな書類があると思いますが、特に職員採用についても大事な書類なわけでありまして、それは簿冊として、きちんと各年度ごとに保管されているはずであります。それが無いということは、もしかして、これは推測なんです、どこかに紛れているというのも1つかもかもしれません。または、故意に紛失なり処分したのかもかもしれません。これは可能性ですから何とも言えませんが、そのために調査をするということだと思います。</p> <p>私には、一部情報が入ってまして、やはり、管理が少しずさんかなと思っておりますので、きのうの答弁では担当課長が責任を持って10年間経過したものを処分するということでした。まだ、平成19年前後の話だと思いますから、五、六年の話であります。特に不祥事が起きた案件でありますので、これをもし故意に処分した職員がいたとすると、やはり、その責任は免れないだろうと思いますので、ぜひきちんとした調査をしてほしいと思います。</p> <p>町長、よろしくお願ひしたいと思いますが、いかがですか。</p>
柏崎委員長	町長。
町長 (成田 隆君)	<p>調査の結果を待って、それ相当の対応は考えております。</p> <p>以上です。</p>
柏崎委員長 (委員席)	<p>ほかに質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
柏崎委員長 (委員席)	<p>なしと認め、歳出全款についての質疑を終わります。</p> <p>以上で、認定第2号の質疑を終わります。</p> <p>これから討論を行います。</p> <p>討論ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
柏崎委員長 (委員席)	<p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>本案は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
柏崎委員長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、認定第2号は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告する</p>

<p>会計管理者 (柏崎尚生君)</p>	<p>ことに決しました。</p> <p>次に、認定第3号、平成24年度おいらせ町奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算認定についてを議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>会計管理者。</p> <p>それでは、認定第3号についてご説明いたします。</p> <p>主要施策の成果の120ページをごらんください。</p> <p>まず、決算規模でございます。</p> <p>第1表、決算規模及び収支の推移をご参照ください。</p> <p>歳入決算額でございますが、平成24年度決算額は1,650万6,000円で、前年度比10.2%の減となっております。</p> <p>次に、歳出決算額は1,619万7,000円で、9.8%の減となっております。</p> <p>歳入歳出差引額は30万9,000円でございます。</p> <p>続きまして、第2表、歳入決算額の状況をご参照ください。</p> <p>2款、寄附金は、121ページ、第5表のとおり、企業団体及び個人合わせて11件、115万3,737円の寄附がありました。3款、繰入金は280万7,000円で、前年度比257万4,000円、47.8%の減でございます。5款、諸収入は1,205万9,000円で、前年度比123万1,000円、11.4%の増でございます。歳入合計額は1,650万6,000円で、前年度に比較して186万8,000円、10.2%の減となっております。</p> <p>続きまして、第3表、歳出決算額の状況をご参照ください。</p> <p>1款、事業費及び歳出合計は1,619万7,000円で、前年度に比較して175万3,000円、9.8%の減となっております。</p> <p>続きまして、121ページの第4表、奨学資金貸付状況をご参照ください。</p> <p>平成24年度の奨学資金の新規貸与者は、大学・大学院等は5名、短大・高専・専門学校等は5名、高校は1名の合計11名です。これに継続貸与者28名を加えますと、合計39名が奨学資金を利用していることとなります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p> <p>質疑は、事項別明細書により行います。</p> <p>歳入歳出決算のうち、歳入歳出全款についての質疑を行います。</p>

<p>平野副委員長</p>	<p>45ページから49ページでございます。</p> <p>平野委員。</p> <p>それでは、育英奨学資金のかかわりで、昨日、10款で質問する機会がなかったものですから、今、関連で質問させていただきます。</p> <p>青森県小学校6年生が学力テスト、文部省の4月に実施した2013年全国学力学習状況調査の結果が公表になっています。青森県の平均回答率が、小学生が国語Aでは2位、算数で3位、応用力を見る国語Bで4位というふうなことで、秋田に次いで2位の成績をおさめていると。中学校にあっても、国語Aが5位だったというふうなことで、非常に健闘を称えているのと、それから、学力の底上げが進んでいるというふうなことで、評価をされております。</p> <p>この結果を踏まえて、当町の結果は県内ではどのぐらいに位置しているのか。全国的にも青森県が上位ですから、私が期待するところでも結構いい結果を残したのではないかと思います。まずこの点について、お聞かせをいただきたいと思っております。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>教育長。</p>
<p>教育長 (袴田健志君)</p>	<p>奨学金関係の審議ですが、これは質問を受けてよろしいですか。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>認めておりますのでどうぞ。</p>
<p>教育長 (袴田健志君)</p>	<p>お答えいたします。</p> <p>全国の学力テストにつきましては、国の文科省は都道府県別の平均値は公表しております。これは新聞紙上にも出ます。それ以上の公表については、市町村教育委員会の裁量になっております。公表しておりません、したがって。</p> <p>なお、各学校に行く自校のデータについては、各学校が保護者等に伝えることで教育的効果があるとすれば、好評は学校の裁量でございます。</p> <p>市町村別については、私どもはデータを持っていますが、これは裁量になってはいますが、青森県内ではどこの市町村も学校ごとのデータは公表しておりません。</p> <p>当町の県内の位置づけといたしましうか、学力の状態はどうかと申しますと、今、委員おっしゃいましたように、あくまでこれはデータなんです。数字なんですけれども、青森県は総合で4位です。したがって、県全体としては悪くないと見ているんですが、その中で、当町の位置は、小中、小学校6年、中学校3年な</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>わけですけれども、青森県全体の平均値を100とすれば、いわゆる到達度とい いますけれども、98あたりということで、県内の中では若干平均値から落ちる かなと。その傾向は中学のほうに強いと、そういう状態であります。</p> <p>以上です。</p>
<p>平野副委員長</p>	<p>平野委員。</p> <p>公表、他の学校の裁量、市町村の裁量というふうなことで公表をされていない わけですけれども、私は、いろんな意味で結果が出て公表してもいいのではない かなというふうな思いです。</p> <p>というのは、今この奨学金を見ましても、貸付者がだんだん人数が少なくなって きているのではないかと。平成24年度で11人、トータル的にいっても39人 です。町内3校、それから中学校があって、本当にこの人数でいろんな優秀な人 材育成につながるのかなというふうなものもありますし、私は今の小学校6年生が 非常に好成績をあげたというふうなことを聞いております。</p> <p>そういうふうな意味では、町としてこれからの優秀な人材を育成する意味で、 町独自の小中、その選抜方式でもいいと思いますけれども、週1回、そういうふ うな特別なおいらせ塾みたいな形での機会を子供たちに与えてやったら、さらに また、学力のアップだけではなくて、この奨学金を活用できる人材が生まれてく るのではないかとというふうなことを考えているわけです。</p> <p>というのは、病院会計でも言いましたように、いろんな制度・仕組み、そうい うふうなものが夢を持ってもかなわないというふうに始めからもうあきらめて いる子供たちもあるんじゃないか。そういうふうな意味では、こういうふうな制 度があって勉強していくことによってこの道になれば、例えば、弘前大の医学部 に入れば町のほうで奨学金こういうふうなものがありますよとか、これぐらいの学 力であげていきますと。例えば、医師を目指すものにあっては、自治医科大があ って、奨学金とかそういうふうなもので全て資格をとれますとか、いろんなもの をもっと小学校、中学校のあたりに情報提供しておくことによって、子供たちが 高い目標を持つ。そしてまた、それに向かって、一生懸命頑張るというふうな機 運が生まれると思います。</p> <p>ですから、町として、私はそういうふうな仕組みを検討してもいいのではない かと。7年後にオリンピックが来るというふうなことも決まっておりますけれど も、町としても、今の例えば6年生を対象にこれからスタートして、どのぐらい のレベルまで上がっていくのか、新たな体制づくりをやって模索しているのも、 そういうふうな子供たちがいっぱい住んでいるというふうなことになれば、町と</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>してはいろんな意味で、ここに入れよう、ここのおいらせ町に住もうというふうな部分も生まれてくると思いますし、できればそういうふうなものも、私はぜひ検討していただきたいというふうなことで、教育長なり町長の考えをお伺いしたいと思います。</p>
<p>教育長 (袴田健志君)</p>	<p>教育長。</p> <p>大変建設的なご意見を賜ったと思っております。</p> <p>まず2点でお答えいたします。</p> <p>公表したほうがいいのかどうかということですが、この公表につきましては、別に県内の市町村教育委員会が統一的に協定してとか、そういうことではないんですが、たまたまこの市町村も公表しておりません。公表に関しては、ご承知のように、秋田県は全ての市町村を平均値公表しています。大阪府も。静岡については、最近ご承知のように、知事が下位校の学校は公表しないけれども、校長名を公表したいと、こういうことで論議を呼んでおります。</p> <p>今のところ、公表についてはそのあたりしか私は承知していないんですけれども、この公表につきましては、両方あると思います。メリット、デメリット。それで、私は弊害のほうが多いと思って公表は控えたほうが良いと思っております。</p> <p>弊害のほうが多いという意味は、これは一般的に公表を控えているところは皆そうだと思いますけれども、1つはあの学力テストの数字で出た成績が、子供の持つ学力のあるいは能力の全てではないと。これは私もそう思います。</p> <p>それから、それを競う、公表して競わせることによって、いわゆるテスト向けの学習指導がなされる危険がある。テストがよければいいんじゃないかというかもしれないが、テスト向けの指導というのは、果たしてこれもまた子供たちの真の実力なのかと、力なのかという疑問もあります。</p> <p>あるいは、極めてまれな例なんですけれども、学力テストの平均、成績を上げるために、学習能力の劣るような子供たちあるいは知的に多少障害のあるような、そういうのをテストから、受験から外してしまうという、極めて人権的に遺憾な事態があったりもしています。そんなようなことで、私はまだ公表は、やはり弊害のほうが多いのかなと思っております。</p> <p>なお、もう1点のおいらせ塾のような形で週1回でも、子供たちに学習の刺激を与えることで、町にはこういう奨学資金制度もあるんだよということ、さらに事前に知らしめることで、子供たちの学習意欲への刺激を与えたらどうかと、そう承りました。全く同感であります。</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>そういう手法をどのようにできるのか。これから検討して、いい形ができればつくってみたいと思っております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>平野副委員長</p>	<p>平野委員、よろしいですか。</p> <p>平野委員。</p> <p>公表については、非常にデメリットのほうが多いように教育長は捉えておりますけれども、やはり、最初はさまざま問題が発生すると思っておりますけれども、例えば、秋田県なんかはもうそういうふうなものが公表されることによって、常に全国上位の成績をおさめているわけで、同じ東北にありながら、隣の県が常に全国のトップクラスの成績をおさめているというふうなことで、私はやはり、長い目で見ていくには、1つの壁を越えなければならない部分もあるのではないかなというふうな思いであります。</p> <p>教育長の言っている子供のいろんなさまざまな能力を引き出す、そしてまた、子供に差別をしない。そういうふうな配慮というものも大事かなと思っておりますけれども、いつかの時期には、そういうふうな形、公表に踏み切る機会もあってもいいのではないかというふうに、私の思いを教育長に伝えておきたいと思っております。</p> <p>それから、私が提案した塾のほうには、非常に教育長も同じ思いを持っているなというふうに感じました。というのは、これから少子化になっていきますけれども、その中で町が独自のそういうふうな施策を持っている。子供の教育、そしてまた、子供の将来を見越した場合、やはり、このおいらせ町で教育を受けさせたほうが、20年30年、そういうふうなものにつながっていくというふうな環境づくりができることによって、町長が言う町の掲げる「住んでみたい町」になっていくのではないかな。やはり、これからは特に少子化になってきて、学校の閉鎖、そういうふうなものも予測されます。そういうふうな意味では、やはり全体的な教育環境をどういうふうに変えていくかというのが、私は1つの課題だと思いますので、町長にもそういうふうな部分を念頭に入れて、再選に向けての1つの政策課題としてぜひ取り組んでいただきますようお願いをして、終わります。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>平野委員、答弁はいいですか。</p> <p>ほかに。教育長。</p>

<p>教育長 (袴田健志君)</p>	<p>しゃべり過ぎですけども、1つだけ、秋田県がずっと全国いわゆるトップ、これは知事の強い意向で、秋田県内の市町村別の公表を教育委員会に申し入れて公表している実情があります。</p> <p>私は、公表して刺激を与えていることがああいう成果になっているのかもしれませんが、もう1つは、政策的に少人数学級等を進めているのが、秋田県が非常に優れています。私はそういうところのほうがああいう結果を招いている要因の大きな部分かなと思っています。</p> <p>そういう意味では、政治の力といいますか、財政の力といいますか、そういうものが学力向上にも必要であると強く感じています。</p> <p>以上です。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>町長。</p>
<p>町長 (成田 隆君)</p>	<p>今、平野委員の質問を聞いて、自分が中学生の時代を思い出しました。私たちが中学生のころ、本当に進学する者、就職する者、一時期分けられた世代です。今、後ろに座っている委員長もたしかその世代ですから、記憶にあると思いますけれども、それが後々まで残って、高校へ行くの、就職をするの、差別されたというどちらともなくそういう思いがあって、差別することはやはり今の時代では絶対許されないことでしょうけれども、当時の学校の方針としてそういうことがあったことを今思い出しております、なるほどというものが1つです。</p> <p>それから、確かに教育は大事だということは、ある新聞をずっと毎日眺めていますと、もう前にも言ったかもしれませんが、当地方では、我々の祖父の時代、その時代からもう中央の進んでいる部分では大学、当時は大学とは言わなかったようですけれども、もうそういうところを卒業している方々が、やはり、大企業あるいはそういう教育機関とか大学の教授、あるいはいろんな部分で日本を引っ張っていつているのが実情だなと。こちらはやはり、農業主体であって、その資力、財力がなかったために高校にもやれなかった。そして、もちろん大学にはやれない時代であったなど。仕方ない、その時代に生まれてしまったから仕方なかったのかなと。あるいはその地域に育ったから仕方なかったのかなと、こう思っておりますけれども、今、平野委員がおっしゃった奨学資金を借りる人がなくなったというのは、私は、1つは、子供が少なくなったし、やはり、この地域でもある程度資金力、財力が出てきて、そんなに奨学資金に頼らなくても学校へ行きたいというのであれば、親がそれ相応の収入を得て支払ってくれているのかなという部分もあるのかなという気がして、そういう部分で減っているのかなと思っております。</p>

	<p>また、特殊な事情によっては、どうしても借りてもいいからあるいは借金してもいいから学校に入れたいあるいは入りたいという思いがあれば、これからこの制度をどんどん普及していきたいと思います。</p> <p>また、弘前大学に入った、特に医学部に入ったお子さんの中には、たしか私、5回か6回挑戦して受かったというふうな、おばあさんからその話を聞いて、よく頑張ったなど。役場にはこういう制度があるよ。病院にはこういう制度があるから、使えるのだったら担当者から聞いてみて利用してもいいんだよという話も伝えておりますので、そういう部分ではこの制度は私なりには普及しているつもりですけれども、まだまだ普及が足りないのであれば、これからも教育委員会あるいはいろんな方法で普及させなければならぬし、ただ、先ほど教育長が言っておられるように、その競争が果たしていいのか。公表することによってですね。そういう部分、私は教育委員会のほうが進める方式がやはり一番いいと。そしてまた、予算要求とかが出てくれば、町としても対応しますけれども、そこまでは思いはあってもそれを教育委員会に指示あるいは要請はしないほうがいいのかなどという気がしておりますので、私の考えはそういう思いであります。</p> <p>当時の私たちの時代のことを置いて、やはり、勉強したい者あるいは家庭の事情でできなかった人方には大変その当時はそんなに申しわけないか思わなかったんです。今こういう立場になって考えますと、申しわけないことをしたんだろうな、されたんだろうなという気はしておりますので、教育に関しましては、これからも力を入れていきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
<p>柏崎委員長 (委員席)</p>	<p>ほかに質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長 (委員席)</p>	<p>なしと認め、歳入歳出全款についての質疑を終わります。</p> <p>以上で、認定第3号の質疑を終わります。</p> <p>これより討論を行います。</p> <p>討論ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長 (委員席)</p>	<p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>お諮りします。</p> <p>本案は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>異議なしと認めます。よって、認定第3号は、原案のとおり認定すべき旨、本</p>

<p>会計管理者 (柏崎尚生君)</p>	<p>会議において報告することに決しました。</p> <p>次に、認定第4号、平成24年度おいらせ町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についてを議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>会計管理者。</p> <p>それでは、認定第4号についてご説明いたします。</p> <p>主要施策の成果の122ページをごらんください。</p> <p>まず、決算規模でございます。</p> <p>第1表、決算規模及び収支の推移をご参照ください。</p> <p>歳入決算額でございますが、平成24年度決算額は10億59万3,000円で、前年度比2.6%の減となっております。</p> <p>また、歳出決算額は9億8,806万7,000円で、前年度比2.6%の減となっており、歳入歳出差引額は1,252万6,000円の決算額でございます。</p> <p>続きまして、第2表、歳入決算額の状況をご参照ください。</p> <p>1款、分担金及び負担金は965万円で、前年度比458万3,000円、32.2%の減となっております。2款、使用料及び手数料は1億3,618万7,000円で、前年度比345万4,000円、2.6%の増でございます。3款、国庫支出金は1,500万円で、前年度比1,445万円、49.1%の減でございます。5款、繰入金は4億6,980万4,000円で、前年度比2,696万5,000円、5.4%の減でございます。7款、諸収入は1,857万2,000円で、前年度比1,566万4,000円、538.7%の大幅増でございます。8款、町債は3億3,840万円で、前年度比210万円、0.6%の減でございます。歳入合計は10億59万3,000円で、前年度に比較して2,648万5,000円、2.6%の減となっております。</p> <p>続きまして、123ページの第3表、歳出決算額の状況をご参照ください。</p> <p>1款、総務費は1億5,464万6,000円で、前年度比2,199万6,000円、12.5%の減となっております。2款、事業費は1億2,959万2,000円で、前年度比378万9,000円、2.8%の減でございます。3款、公債費は7億382万9,000円で、前年度比2,723万9,000円、4%の増でございます。</p> <p>歳出合計は9億8,806万7,000円で、前年度に比較して2,605万6,000円、2.6%の減となっております。</p> <p>次に、第4表、地方債残高の状況をご参照ください。</p>
--------------------------	--

<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>地方債の平成24年度末借入残高ですが87億9,073万5,000円となっております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p> <p>質疑は、事項別明細書により行います。</p> <p>歳入歳出決算のうち、歳入全款についての質疑を行います。</p> <p>57ページから60ページでございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>なしと認め、歳入全款についての質疑を終わります。</p> <p>次に、歳出全款についての質疑を受けます。</p> <p>61ページから67ページでございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>なしと認め、歳出全款についての質疑を終わります。</p> <p>以上で、認定第4号の質疑を終わります。</p> <p>これから討論を行います。</p> <p>討論ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>本案は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p> <p>会計管理者</p>	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、認定第4号は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することに決しました。</p> <p>次に、認定第5号、平成24年度おいらせ町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についてを議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>会計管理者。</p> <p>それでは、認定第5号についてご説明いたします。</p>

<p>(柏崎尚生君)</p>	<p>主要施策の成果125ページをご参照ください。</p> <p>まず、決算規模でございます。</p> <p>第1表、決算規模及び収支の推移をご参照ください。</p> <p>歳入決算額でございますが、平成24年度決算額は1億1,254万4,000円で、前年度比7.1%の減となっております。</p> <p>次に、歳出決算額は1億1,084万1,000円で、前年対比6.9%の減となっており、歳入歳出差引額は170万3,000円の決算額でございます。</p> <p>続きまして、第2表、歳入決算額の状況をご参照ください。</p> <p>2款、使用料及び手数料は2,801万2,000円で、前年度比48万9,000円、1.8%の増となっております。4款、繰入金は6,094万1,000円で、前年度比576万2,000円、8.6%の減でございます。7款、町債は2,150万円で、前年度比30万円、1.4%の減でございます。</p> <p>歳入合計は1億1,254万4,000円で、前年度比856万8,000円、7.1%の減となっております。</p> <p>続きまして、126ページの第3表、歳出決算額の状況をご参照ください。</p> <p>1款、総務費は3,054万7,000円で、前年度比251万5,000円、9%の増となっております。2款、公債費は8,029万4,000円で、前年度比229万7,000円、2.9%の増でございます。</p> <p>歳出合計は1億1,084万1,000円で、前年度に比較しまして821万1,000円、6.9%の減となっております。</p> <p>続きまして、第4表、地方債残高の状況をご参照ください。</p> <p>公債費の平成24年度末借入残高ですが8億3,368万3,000円となっております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p> <p>質疑は、事項別明細書により行います。</p> <p>歳入歳出決算のうち、歳入歳出全款についての質疑を行います。</p> <p>75ページから83ページでございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p>
<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>なしと認め、歳入歳出全款についての質疑を終わります。</p> <p>以上で、認定第5号の質疑を終わります。</p> <p>これから討論を行います。</p>

<p>(委員席) 柏崎委員長</p>	<p>討論ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>なしと認め、討論を終わります。 お諮りいたします。 本案は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p>
<p>(委員席) 柏崎委員長</p>	<p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>異議なしと認めます。 よって、認定第5号は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することに決しました。 次に、認定第6号、平成24年度おいらせ町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてを議題といたします。 当局の説明を求めます。 会計管理者。</p>
<p>会計管理者 (柏崎尚生君)</p>	<p>それでは、認定第6号についてご説明いたします。 主要施策の成果127ページをごらんください。 まず、決算規模でございます。 第1表、決算規模及び収支の推移をご参照ください。 歳入決算額でございますが、平成24年度決算額は19億1,941万3,000円で、前年対比6%の増となっております。 次に、歳出決算額は18億9,659万5,000円で、6.2%の増となっており、歳入歳出差引額は2,281万8,000円の決算額でございます。 続きまして、第2表、歳入決算額の状況をご参照ください。 1款、保険料は3億3,311万9,000円で、前年度比1,741万4,000円、5.5%の増となっております。3款、国庫支出金は4億3,639万6,000円で、前年度比1,716万2,000円、4.1%の増でございます。4款、支払基金交付金は5億1,372万2,000円で、前年度比1,836万4,000円、3.7%の増でございます。5款、県支出金は2億6,084万7,000円で、前年度比2,497万2,000円、10.6%の増でございます。7款、繰入金は3億4,395万4,000円で、前年度比3,413万9,000円、11%の増でございます。 歳入合計は19億1,941万3,000円で、前年度に比較して1億900万4,000円、6%の増となっております。 続きまして、128ページの第3表、歳出決算額の状況をご参照ください。</p>

	<p>1款、総務費は1億758万6,000円で、前年度比571万6,000円、5%の減となっております。2款、保険給付費は17億5,544万8,000円で、前年度比1億2,357万1,000円、7.6%の増でございます。3款、地域支援事業費は1,686万8,000円で、前年度比175万8,000円、9.4%の減でございます。4款、基金積立金は1,669万3,000円で、前年度比865万2,000円、107.6%の増でございます。</p> <p>歳出合計は18億9,659万5,000円で、前年度に比較して1億1,131万5,000円、6.2%の増となっております。</p> <p>続きまして、第4表、介護保険料の状況をご参照ください。</p> <p>(1) 現年度第1号被保険者分の平成24年度決算収入額は3億3,153万1,000円、収納率で98.6%となっております。前年度比1,773万円、5.7%の増となっております。</p> <p>次に、(2)の不納欠損の状況ですが、52件、254万150円の欠損額となっております。</p> <p>次に、第5表、介護保険利用状況の129ページの(3)介護給付の給付の状況の表をご参照ください。</p> <p>平成24年度給付費合計額は17億5,544万8,000円で、前年度比1億2,357万1,000円、7.6%の増となっております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
柏崎委員長	<p>説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p> <p>質疑は、事項別明細書により行います。</p> <p>歳入歳出決算のうち、歳入全款についての質疑を行います。</p> <p>91ページから98ページでございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p>平野委員。</p>
平野副委員長	<p>92ページの保険料の件ですけれども、不納欠損額254万円、収入未済額874万2,000円、約1,100万円ぐらいが収入未済、そして不納欠損になっているわけです。</p> <p>でも、これらの金額が保険料の料率にどのように影響するのか。実際、この分入ってこないということですから、保健料で上げなければカバーできないのか、その辺、お聞かせをいただきたいと思います。</p>

平野副委員長	介護福祉課長。
介護福祉課長 (松林泰之君)	<p>それでは、お答えをいたします。</p> <p>不納欠損あるいは滞納となるということになりますと、当然、当初、目標として定めた介護保険の金額に満たなくなると、給付費に影響してくるというふうなことに繋がっていきます。</p> <p>今年度は、基金繰入として何とかその歳入、いわゆる給付費等もマイナスには至りませんが、平成25年、26年でこのまま行きますと、そういった不納欠損、滞納等が影響してマイナス、いわゆる基金からの借り入れが必要になってくるのではというふうに見ております。</p> <p>以上であります。</p>
柏崎委員長	平野委員。
平野副委員長	<p>やはり、その予算の枠組みの中でこういうふうな形で納付されない額がふえてくることによって、どうしても料率を上げるとかさまたまそういうふうな手立てが必要になってくると思いますけれども、この不納欠損されている254万円、この件数でいきますと52件、1人頭、そうすると約50万円近い金額になるわけで、これは介護保険は特別会計になっているからというふうな意識でもないと思うんですけれども、これらの徴収対策というのは、税のほうと一体となって多分進められていると思いますけれども、なかなか優先順位からいったら私は多分介護保険、それから町税、固定資産税、いろいろなものが網羅されているのかなというふうに思いますけれども、例えば、国保、介護保険、町税、滞納をした人があるとして、その3つを滞納したので、じゃ全額、一部だけというふうな場合は、この充当の範囲から言ったら、介護保険のほうが第3位ぐらいになるのではないかと思うんですけれども、税務課長が徴収の副になっているというふうなこともありますので、私が税務課長だったら、やはり、自分のところの町、実績を上げて、次はほかのほうというふうな気持ちになるんですが、ちょっとそこを事務課長。</p>
柏崎委員長	税務課長。
税務課長 (松林光弘君)	<p>お答えします。</p> <p>先ほど、不納欠損の額から件数で割ると4万8,000円ぐらいになります。50万円ではなく。そこを訂正をお願いします。</p>

	<p>それで、今質問のありました徴収の優先順位ということではありますが、先般も質問でお答えしましたが、特別会計、独立採算の特別会計でありますので、町税よりは特別会計を優先するというふうな町の方針のもとで国保等を優先して取っております。</p> <p>ただ、この介護保険と後期保険料は時効が2年であります。ということで、2年で時効ということになりますので、国保は5年でありますので、介護保険、後期保険料を優先する場合があります。それはときどきの状況によって、そういう徴収の方法をしております。</p> <p>いずれにしても、特別会計を町税よりは、一般よりは優先して徴収する方針であります。</p> <p>以上です。</p>
柏崎委員長	平野委員。
平野副委員長	<p>了解しました。</p> <p>期限が2年というふうな部分もありますし、それによってこの部分については納付するのが本人よりもその世帯の後を継いでいるほうの比率も多いのかなど。ですから、長男なり子供たちが半分以上を納付しているのかなというふうなことを考えますと、なかなかこの介護保険に対する意識というのがよく理解されていないような気がします。ですから、そういうふうな意味では、だんだん上がってきても、また率が上がって、またその納められない人が増えてくるというふうな悪循環にならないような手立てをして対応してほしいと思います。</p> <p>担当の課長については、いろんな意味で納付の仕方とかそういうふうな、この滞納がふえることによってこういうふうな弊害が出ますよというふうな保険者に対するPRも継続して行っていただくようお願いして終わります。</p>
柏崎委員長 (委員席)	<p>ほかに質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
柏崎委員長 (委員席)	<p>なしと認め、歳入全款についての質疑を終わります。</p> <p>次に、歳出全款についての質疑を受けます。</p> <p>99ページから113ページまででございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
柏崎委員長	<p>なしと認め、歳出全款についての質疑を終わります。</p> <p>以上で、認定第6号の質疑を終わります。</p>

<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p>これから討論を行います。</p> <p>討論ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>本案は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p>
<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、認定第6号は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することに決しました。</p> <p>ここで暫時休憩いたします。</p> <p>11時15分まで。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p style="text-align: right;">(休憩 午前11時01分)</p> <p>休憩を取り消し、会議を再開いたします。</p> <p style="text-align: right;">(再開 午前11時15分)</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>次に、認定第7号、平成24年度おいらせ町霊園事業特別会計歳入歳出決算認定についてを議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>会計管理者。</p>
<p>会計管理者 (柏崎尚生君)</p>	<p>それでは、認定第7号についてご説明いたします。</p> <p>主要施策の成果の131ページをごらんください。</p> <p>まず、決算規模でございます。</p> <p>第1表、決算規模及び収支の推移をご参照ください。</p> <p>歳入決算額でございますが、平成24年度決算額は773万2,000円で、前年対比41.2%の減となっております。</p> <p>次に、歳出決算額は773万2,000円で、40.2%の減となっており、歳入歳出差引額はゼロ円の決算となっております。</p> <p>続きまして、第2表、歳入決算額の状況をご参照ください。</p> <p>1款、使用料及び手数料は455万5,000円で、前年度比236万7,000円、108.2%の増となっております。2款、繰入金は295万9,000円で、前年度比751万円、71.7%の減でございます。</p> <p>歳入合計額は773万2,000円で、前年度比542万円、41.2%の減となっております。</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>続きまして、第3表、歳出決算額の状況をご参照ください。</p> <p>1款、総務費は118万4,000円で、前年度比9万2,000円、7.2%の減となっております。2款、公債費は654万8,000円で、前年度比511万円、43.8%の減でございます。歳出合計は773万2,000円で、前年度に比較して520万2,000円、40.2%の減となっております。</p> <p>続きまして、132ページの第4表、霊園利用状況及び利用増減状況をご参照ください。</p> <p>平成24年度の利用率は、395区画に対し247区画が利用されており、前年度より13区画ふえて、利用率では62.5%となっております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p> <p>質疑は、事項別明細書により行います。</p> <p>歳入歳出決算のうち、歳入歳出全款についての質疑を行います。</p> <p>121ページから125ページでございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p>馬場委員。</p>
<p>馬場正治委員</p>	<p>1款の使用料のところでございますけれども、主要施策の成果のほうの132ページの説明がありました。</p> <p>平成24年度の利用率は1種、2種合計で62.5%ということでございます。そして、1種につきましては、平成23年度よりも利用数が1人減っております。1種についての利用率は34.2%ということで、どちらかというところ4平米の小さいところの利用についてはふえているけれども、6平米のところは返還があったりして、平成23年度よりも1人減ったということでございます。</p> <p>町営の霊園につきましては、まだ用地が造成していない部分がかなりの面積があるというふうに聞いておりますけれども、この利用者の増減の状況から見て、今後将来、その遊閑地といいますか、造成していない部分の土地について、今後造成する必要があるのか。もしなければ、別な利用、いわゆる墓地としての利用ではなくて、別な利用を検討する考えはあるのか。今後の見通しについての考えを伺いたいと思います。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>環境保健課長。</p>

<p>環境保健課長 (小向道彦君)</p>	<p>お答えします。</p> <p>まず、完売年度の見込みについてですけれども、平成24年度残区画は148区画で、これまでの実績から行くと15年から20年ぐらいかかると考えております。</p> <p>ということで、まず、私の個人的な考え方では、そのままでもよいのではないかと考えております。</p> <p>以上です。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>残地の有効活用とか、そういうことに対しては答弁されていませんが。</p>
<p>環境保健課長 (小向道彦君)</p>	<p>失礼しました。</p> <p>残地については、残してそのまま完売した後の墓地として分譲していくと、そういう考え方です。</p> <p>以上です。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>馬場委員。</p>
<p>馬場正治委員</p>	<p>ただいまの答弁ですと、現在の区画数を完売するのは15年から20年かかるのではないかという見通しなんですけれども、遊閑地について、その後のまた分譲というふうな答弁だったと思いますけれども、ここ5年、10年、いないのですね。世帯数の増減、人口の増減等から見て、その遊閑地を将来また造成して分譲するという可能性はあるのでしょうか。もしなければ、別な目的に有効利用することも1つの考えではないかと思えますけれども、町当局としての考えをお聞きしたいと思います。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>町長。</p>
<p>町長 (成田 隆君)</p>	<p>お答えします。</p> <p>まずもって、先ほど計算しましたらまだ148ですか、残っていて、それを売らなければならないんですけれども、1年に昨年で10あるいはまた10区画以下の年が大変多いようですし、また、町内の寺墓地というんですか、檀家墓地というんですか、そういうところを聞きますと、残っているお寺さんが結構ありますし、また新しく墓をつくっているということで、たしか数年前に許可を出したお寺もあります。</p> <p>あるいはまた人口がこの先どうなるかということを含めて考えますと、果たし</p>

	<p>て増加させなければならぬのかなという気もしております。</p> <p>しかしながら、また、あそこは墓を取りやめる、あれ以上ふやさないそうだということによって、また購買者の意欲を削ぐようなことがあってもならないですし、もう少し、この先少し時間をかけて、世の中の動きを見ながら適宜対処していきたいと考えております。</p> <p>以上です。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>馬場委員。</p>
<p>馬場正治委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>八戸西霊園というところがございます。北バイパスの八戸寄りのほうにですね。そこには簡単な法事をやれるような施設、建物もあるんですけども、町営墓地の遊閑地、まだ造成していない土地がかなり広がっております。そういうところに、そういった利用者がここに墓地を買えば、ここで簡単な法要もできるし、天気が悪くても親戚が集まって、仕出しを取れば会食程度できるというふうな施設をつくることによって、また墓地の利用者の増加も期待できるというふうな考えもあるのではないかとというふうなことで、ただただそのまま置いて、年間1桁の増加がずっと続いていたわけですけども、もっと利用者が「あの墓地はなかなか機能があって、あそこにお墓を買えばこれから子供たちもいいだろう」と思うような売り出し、積極的な利用者の増をねらうような土地の利用の仕方もあるのではないかなと思います。</p> <p>ここ10年ぐらい見ていると、ただただ人口が減った、なかなか売れない。それだけで何の手も打っていないということが見られますので、1つ提言をしておきたいと思いますが、町長はこういうふうな積極的な施設の充実と営業といいますかね、そういった考えについてはどのように考えられますか。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>町長。</p>
<p>町長 (成田 隆君)</p>	<p>大変新しい発想で、大変ありがたい提言だと思っております。</p> <p>そういうことも含めまして、例えば、土地はもうせっかくあるわけですから、民間の業者さんが進出してこられるものがあるいはそういうことが町として可能なものか、そういう利用方法が。そういう部分も含めて、今、担当課長も聞いておりますので、検討させますし、してみたいと思います。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>日野口委員。</p>

<p>日野口和子委員</p>	<p>ただいまの馬場議員のおっしゃっていたこと、まさに私も提案しようと思っていた事例でございますが、別な聞き方をします。</p> <p>まず、霊園ですね。当時の行政側、そしてまた議会、双方で一生懸命に頑張っ てあの霊園を増築したと聞いておりますし、ありがたいことだと思っております。</p> <p>しかしながら、あそこ、何度も何度も通るたびに草がすごいですよ。ですから、あそこの草刈り、年何回行っているのか、ご答弁願います。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>環境保健課長。</p>
<p>環境保健課長 (小向道彦君)</p>	<p>草刈りについては年4回やっております。</p> <p>以上です。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>日野口委員。</p>
<p>日野口和子委員</p>	<p>年4回やっているということですが、私が見る限り、いちいちおりにチェックしているわけではないんですけども、年に1回、2回しかやっていないのではないかなというぐらい、かなりの、お盆が近くなっても大丈夫かしらと思うぐらい、気にしているときがありました。</p> <p>だから、もう少し春先、お盆前、秋彼岸、もうちょっと期間を縮めて整備することによって、きれいだなと。ここに骨をうずめたいなと思うこともあるだろうけれども、あれだけ草が伸びていたら、正直いって私も瑞泉寺にお墓があります。せっかくおいらせ町に骨をうずめるんだからと思って、向こうの霊園を考えておりますけれども、あれだけ草が伸びていけば二の足、引いちゃうんですよ。どうしても。ですから、もう少しきれいに整備することはできないか。</p> <p>それにまた、先ほど馬場委員もおっしゃったようなそういう設備ができないものかということで、私はこう話をしているわけですが、もう1点、この霊園、墓所ということに絡めてお願いをしていきたいと思うんですけども、鶉久保地区の墓所があるんです。その墓所のとなりが、何坪だったかちょっと忘れたけれども、寄附したいという方がいるんです。しかしながら、東側ののり面がそのままなものだから、あそこ、L字型のコンクリートみたいなもの、壁、そういうものをやっていただいて、町側で整備できないものかと思っておりますけれども、いかがでしょうか。</p>

<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>日野口委員に申し上げます。</p> <p>今、審査をしている霊園事業特別会計とは全く無関係のことだと思っておりますので、その質問はお受けするわけにはまいりません。</p> <p>ほかに質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>なしと認め、歳入歳出全款についての質疑を終わります。</p> <p>以上で、認定第7号の質疑を終わります。</p> <p>これより討論を行います。</p> <p>討論ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>本案は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、認定第7号は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することに決しました。</p> <p>次に、認定第8号、平成24年度おいらせ町公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算認定についてを議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>会計管理者。</p>
<p>会計管理者 (柏崎尚生君)</p>	<p>それでは、認定第8号についてご説明いたします。</p> <p>主要施策の成果の133ページをごらんください。</p> <p>まず、決算規模でございます。</p> <p>第1表、決算規模及び収支の推移をご参照ください。</p> <p>歳入決算額でございますが、平成24年度決算額は4,366万9,000円で、前年対比61.5%の減となっております。</p> <p>次に、歳出決算額は4,315万8,000円で、61.8%の減となっており、歳入歳出差引額は51万1,000円の決算額となっております。</p> <p>続きまして、第2表、歳入決算額の状況をご参照ください。</p> <p>2款、繰入金は4,322万円で、前年度比1,868万円、30.2%の減となっております。歳入合計は4,366万9,000円で、前年度比6,987万円、61.5%の減となっております。</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>続きまして、第3表、歳出決算額の状況をご参照ください。</p> <p>1款、事業費は701万9,000円で、前年度比1,512万4,000円、68.3%の減となっております。2款、公債費は3,613万9,000円で、前年度比5,480万8,000円、60.3%の減でございます。</p> <p>歳出合計は4,315万8,000円で、前年度比6,993万2,000円、61.8%の減となっております。</p> <p>続きまして、第5表、地方債残高の状況をご参照ください。</p> <p>平成24年度末の地方債残高は1億180万円となっております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p> <p>質疑は、事項別明細書により行います。</p> <p>歳入歳出決算のうち、歳入歳出全款についての質疑を行います。</p> <p>133ページから137ページまででございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p>
<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>なしと認め、歳入歳出全款についての質疑を終わります。</p> <p>以上で、認定第8号の質疑を終わります。</p> <p>これから討論を行います。</p> <p>討論ありませんか。</p>
<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>本案は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p>
<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、認定第8号は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することに決しました。</p> <p>次に、認定第9号、平成24年度おいらせ町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてを議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>会計管理者。</p>

<p>会計管理者 (柏崎尚生君)</p>	<p>それでは、認定第9号についてご説明いたします。</p> <p>主要施策の成果134ページをごらんください。</p> <p>まず、決算規模でございます。</p> <p>第1表、決算規模及び収支をご参照ください。</p> <p>歳入決算額でございますが、平成24年度決算額は1億4,223万4,000円で、前年対比2.6%の増となっております。</p> <p>次に、歳出決算額は1億4,179万9,000円で、2.5%の増となっており、歳入歳出差引額は43万5,000円の決算額でございます。</p> <p>続きまして、第2表、歳入決算額の状況をご参照ください。</p> <p>1款、後期高齢者医療保険料は8,695万2,000円で、前年度比192万円、2.3%の増でございます。3款、繰入金は5,485万7,000円で、前年度比155万8,000円、2.9%の増でございます。歳入合計は1億4,223万4,000円で、前年度比359万3,000円、2.6%の増となっております。</p> <p>続きまして、第3表、歳出決算額の状況をご参照ください。</p> <p>1款、総務費は75万4,000円で、前年度比141万4,000円、65.2%の減でございます。2款、後期高齢者医療広域連合納付金は1億4,086万2,000円で、前年度比485万5,000円、3.6%の増でございます。</p> <p>歳出合計は1億4,179万9,000円で、前年度比341万4,000円の2.5%の増となっております。</p> <p>続きまして、135ページの第4表、医療給付状況の(1)青森県後期高齢者医療広域連合医療給付の状況の医療費は、件数で6万4,008件、給付額では17億3,205万5,000円となっており、前年度比、件数で2,670件の増、給付額では478万7,000円の減となっております。</p> <p>次に、(2)医療給付に要する負担金の状況の決算額は、療養給付費負担金で1億5,367万8,000円、保険基盤安定負担金で4,647万1,000円、保険料負担金で8,681万4,000円となっており、合計では2億8,696万3,000円となり、前年度比1,934万5,000円、7.2%の増でございます。</p> <p>続きまして、第5表、保険料収納状況をご参照ください。</p> <p>普通徴収額は2,991万6,300円の決算額で、収納率は98.2%となっております。特別徴収額は5,654万600円で、収納率100%です。合計では8,645万6,900円の決算額で、収納率は99.4%となっております。</p> <p>次に、(2)の不納欠損の状況ですが、3件、5万2,300円の欠損額とな</p>
--------------------------	--

<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>っております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p> <p>質疑は、事項別明細書により行います。</p> <p>歳入歳出決算のうち、歳入歳出全款についての質疑を行います。</p> <p>145ページから153ページでございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>吉村委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>なしと認め、歳入歳出全款についての質疑を終わります。</p> <p>以上で、認定第9号の質疑を終わります。</p> <p>これから討論を行います。</p> <p>討論ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>吉村委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>本案は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>吉村委員長</p>	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、認定第9号は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することに決しました。</p> <p>次に、認定第10号、平成24年度おいらせ町病院事業会計決算認定についてを議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>会計管理者。</p>
<p>会計管理者 (柏崎尚生君)</p>	<p>それでは、認定第10号についてご説明いたします。</p> <p>主要施策の成果の136ページをごらんください。</p> <p>まず、決算規模でございます。</p> <p>第1表、収益的収入及び支出の決算規模をご参照ください。</p> <p>事業収益でございますが、平成24年度決算額は8億8,161万5,000円で、前年対比6%の減となっております。</p> <p>次に、事業費用の決算額は8億8,085万9,000円で、3%の減となっ</p>

ております。

純利益の決算額は75万6,000円の黒字決算となっております。

続きまして、第2表、事業収益決算額の状況をご参照ください。

事業収益は8億8,161万5,000円で、前年度比5,641万7,000円、6%の減となっております。

その内訳は、前年度比で、医業収益は5,685万6,000円、6.4%の減となっており、また、医業外収益は43万9,000円、0.8%の増となっております。

続きまして、第3表、事業費用決算額の状況をご参照ください。

事業費用は8億8,085万9,000円で、前年度比2,722万2,000円、3%の減となっております。

その内訳は、前年度比で、医業費用は2,683万1,000円、3.1%の減となっており、医業外費用も39万1,000円、1%の減となっております。

続きまして、第4表、資本的収入及び支出の決算規模をご参照ください。

資本的収入は決算額1億1,496万7,000円で、前年度比28.1%の増となっております。

また、資本的支出は、決算額1億2,985万5,000円で、前年度比7.7%の増となっております。

差引額は1,488万8,000円の不足決算額で、差引額の不足分につきましては損益勘定留保資金で補填をしております。

続きまして、137ページをごらんください。

第5表、資本的収入決算額の状況をご参照ください。

資本的収入は1億1,496万7,000円で、前年度比2,523万9,000円、28.1%の増となっております。

その内訳は、前年度比で、企業債7,530万円、331.7%の大幅増、他会計出資金は3,164万9,000円、68.8%の減、国庫補助金も1,841万2,000円、87.5%の減となっております。

続きまして、第6表、資本的支出決算額の状況をご参照ください。

資本的支出は1億2,985万5,000円で、前年度比924万8,000円、7.7%の増となっております。

その内訳は、前年度比で、建設改良費は3,199万3,000円、46.2%の増となっており、また、企業債償還金は2,274万5,000円、44.2%の減となっております。

続きまして、第7表、企業債残高の状況をご参照ください。

公債費の平成24年度末現在高は1億5,029万9,000円となっております。

<p>柏崎委員長</p>	<p>ます。</p> <p>次に、第8表、業務の状況をご参照ください。</p> <p>入院、外来の総患者数は5万8,441人で、前年度比2,982人、4.9%の減となっております。入院患者数、外来患者数とも、前年度比減となっております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p> <p>認定第10号については、収入、支出とも一括して質疑を行います。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p>155ページから182ページでございます。</p> <p>馬場委員。</p>
<p>馬場正治委員</p>	<p>一括でということでございますけれども、主要施策の成果の136ページの第1表ですね。過去5年間、平成20年度から平成24年度までの5年間、黒字、事業収益で純利益で黒字を出してきておりますけれども、昨年度、平成24年度になって、純利益がぐっと落ちております。果たして、平成25年度以降の予測はどのように見られているのかお聞きしたいと思います。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>病院事務長。</p>
<p>病院事務長 (山崎悠治君)</p>	<p>それではお答えいたします。</p> <p>この表のとおり、平成24年度は純利益が75万6,000円、辛うじての黒字ということになりました。</p> <p>その要因といたしましては、入院患者数の減ということになるんですが、9月から11月までにかけての患者数の減、それから、特に3月が、平年ですと逆に患者数がふえてくるんですけども、平成24年度に限っては3月が前年に比較いたしまして約500人近く減ったというのが主な要因となっております。</p> <p>それで、今年度の状況になりますが、8月末現在のまずは患者の動向を見ますと、入院では7,786人、昨年7,763人で、23人の増ということで、これに関しては、昨年と同程度となっております。外来患者数は1万6,930人に対して、昨年は1万7,064人、132人の減となっておりますが、そう減っているわけではございません。</p> <p>ただ、次の診療収入でございますけれども、こちらのほうは8月末では、入院</p>

	<p>と外来を含めるとトータルで3億1,802万3,000円で、昨年と比べると638万1,000円の増、それから、経費のほうでございませけれども、こちらのほうでは8月末では費用の合計が3億1,815万円、昨年と比較しますと598万9,000円の減となっております。</p> <p>それで、差し引きといたしましては、昨年同期で約1,156万円ほどの増という結果になっております。</p> <p>患者数等見ておりませんが、徐々に1人当たりの入院費が少しずつ伸びてきていることと、外来の1人当たりの医療費も少しずつ伸びてきております。</p> <p>これらが続いていけば、平成25年度末は黒字が見込まれるわけですが、ただ、昨年、平成24年度に整備いたしましたCT等高額の医療機器がございますので、その分の減価償却費も1,100万円ほどふえておりますので、見通しといたしましては、平成24年度同様、大きい利益は見込めないにしても黒字は見込めるのではないかと考えております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>次に、平野委員。</p>
<p>平野副委員長</p>	<p>ちょっと主要施策の成果とこの決算書との関連について調整をした担当者のほうにお伺いをしたいと思います。</p> <p>というのは、主要施策の成果には消費税は入っていないというふうなこと。こちらの決算書でいいますと、156ページ、それから157ページ、この資本的収入及び支出と収益的収入及び支出のところですが、これと対比すれば、非常にわかりにくいわけです。</p> <p>例えば、主要施策の成果の136ページを見ますと、平成24年度の事業収益が8億8,161万5,000円、この決算書の156ページを見ますと、事業収益が8億8,331万4,000円のこの差額が、じゃ消費税なのかなと思、下のほうを見て、その内訳の医業収益、医業外収益、うち仮受消費税が150万7,483円、決算書ですとこう書いてはありますが、これは監査のほうも審査を終わっていますからあれですが、こういうふうな決算書の作成については、例年どおりの形で出していると思うんですけども、非常に理解するのに、例えば、事業収益でも同じです。</p> <p>これと156ページ、それから、159ページの損益計算書、この関連が、またはこの金額が、消費税の絡みかわかりませんが、なかなか理解に苦しむわけです。</p>

	<p>ですから、損益計算書でようやくこの経常利益が75万6,026円になるというふうなのが、159ページを見ますと出ていますけれども、ぱっとこの156ページを見たときに、決算額でいきますと、もっと額的に出てくるのが、消費税絡み、この辺どういうふうな形で調整したか、まず1点お聞かせをいただきたいと思います。</p> <p>それから、決算書の159ページの損益計算書のところを見て、ちょっと医業収益、医業費用、医業利益が出ていますけれども、この消費税を対比してみて、医業外収益のところ、ちょっとこれでいいのかなというふうな、数字的に疑問を感じましたけれども、正しいというふうなのであればその旨、答弁をいただきたいと思います。</p> <p>それから、この決算報告書166ページでは、いろんな医療機械の購入をしたというふうな報告になっています。そして、169ページにその資産購入の内訳が載っていますけれども、X線CT撮影装置と消化管電子内視鏡システム2,045万4,000円、このCTの撮影装置、市場価格が幾らで7,100万円になったのか。値引き率、そういうふうなものがどのぐらいになっているのか、このところを教えてくださいたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>病院事務長。</p>
<p>病院事務長 (山崎悠治君)</p>	<p>それではお答えいたします。</p> <p>まず、決算書の155ページになりますけれども、これらの様式でございますが、これは公営企業法に定められた様式で、こういうふうな決算書類を添付して報告することになっております。</p> <p>それで、ここの表は税込みの表なんですけれども、確かに消費税の関係で簡単に出てこないということもありますが、まずはこの中に内書きで消費税の額を借受消費税とか仮払消費税とか記載しておりますが、これは記載されていないもので、棚卸分の資産分にかかわる消費税というものもございます。それらもありますので、それらを全部税抜きをしたのが、次の損益計算書のほうになってくるわけでございます。これらも公営企業法の中で示されている様式に基づいて記載しているものでございます。</p> <p>それから、ここの中の営業外費用とか営業外収益ですね。こちらの部分も全て税抜処理をした数値でございますので、これで正しいものであります。</p> <p>次に、医療機器のことでございますけれども、特にCTの関係なんですけど、実際のメーカーの販売価格が幾らかということになりますと、きょうはその金額の</p>

	<p>資料を持ってきておりませんのでお答えはできないんですけれども、後刻、その数値は金額をご報告したいと思います。</p> <p>それと、この金額は全て入札をもって執行しておりますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
柏崎委員長	<p>会計管理者は答えることは可能ですか。支払った人はいるんだけども。(「わからない」の声あり)わからない。じゃ平野委員。</p>
平野副委員長	<p>私が言っているのは、この様式はちゃんと公営企業法に定められているわけですから、これで作成されて当然だと思います。</p> <p>ただ、こちらの主要施策の成果のほうの数値との差というのが、よく簡単に理解できないんです。この仮受消費税、156ページのほうに書いていますけれども、やはり、数字的にいったら、ここの156ページと159ページ、ここの差額の部分というのは、それなりにもっとわかりやすく説明をしてもらったほうがいいし、また、この主要施策の成果のほうでも、ただこういうふうな差額、これで見ると、私はいいのかなというふうな気がしたのが、例えば、この主要施策の成果で事業収益が8億8,100万円、損益計算書のほうで、じゃここのところがどこかなというふうに見比べても、その2つを足してみなければわからないとか、いろんな簡単に容易に理解できないなというふうな気がしますので、様式を言っているのではなくて、見たら、やはりこれとこれの関連があってこうなっているんだというふうなのがわかるような数値の入れ方をしてほしいというふうに思います。</p> <p>それから、今、入札によってこの機械を買っているというふうなことですけれども、私は、この議会にも報告になっていますから、それは入札によって購入したのは理解できますけれども、ただ、そのときに定価と、それからこの機種の設定というふうな形で、例えば、機種の設定委員会を設けて、いろんなドクター、それから関係者を入れて、どういうふうな形で協議したのか、その内容についてもお知らせをいただきたいと。</p> <p>もう1点は、今説明にあったように、平成25年度の将来見通しからいきますと、8月現在ですと、収支のバランスが良好だというふうなことですけれども、一番基本となる患者数が減っているというのが、私はもっと問題視すべきだと思うんですよ。前にも質問ありましたように、三沢市立病院がオープンしてから、いろんな意味での患者数の減につながっているというのは事実なわけですから、そういうふうな意味では、もっと中身的な部分で患者サービスを充足させるとい</p>

	<p>うのが、私は委託契約をしている172ページにも載っていますけれども、医療事務、そういうふうな方々の人の異動も結構激しいなと思っているんです。特に、高齢者がなじんだころにその人がかわっている。</p> <p>やはり、委託契約しているから口を出せないというふうなことじゃなくて、やはり、病院全体のサービス低下につながるような部分については、きちっとした契約に基づく医業収益に影響しないような中身点検をしながら、私は指導すべきだし、また、そういうふうな、なぜこういうふうな人が入れかわりがあるのか確認をすべきだというふうに思います。この点について答弁いただきたいと思います。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>病院事務長。</p>
<p>病院事務長 (山崎悠治君)</p>	<p>それではお答えいたします。</p> <p>まず、この主要施策の成果のほうとこの決算書のほうで、数値が、もちろんこれは消費税絡みなんですけれども、見にくいという、わかりづらいということで、これに関しましては、平成25年度の決算に向けて、まずは検討してみたいと思います。</p> <p>この消費税が入りますと、収入・支出ともいろんな調整もありますので、その辺もある程度わかるような内容にしていきたいと思います。</p> <p>それから、機種を選定なんでございますけれども、特に今回は、このCTに関しましては、更新前に使っていたものが外国製のCTでございまして、そのメンテナンスとか急にトラブルが起きたときの対応と、これらが非常によくなかったということもありまして、今回は国内のメーカーを指定して入札を執行したところでございます。</p> <p>それに向けては、院内のほうに医療機器の選定委員会がございまして、医師も含めてそれぞれの担当する者、そのほかに看護師等も含めまして機種を選定に当たっております。それで決定した上で、この国内のメーカーに絞ったということでございます。</p> <p>それから、患者数の減でございますけれども、なかなか患者の増加に対してのいい策というのは見出せないんですが、医療サービスにもよることだと思いますが、その辺に関しましては、また常勤の先生方ともいろいろと協議しながら対応を考えてはいきたいと思いますが、その年によりまして、小さい病院ではすごくその年々によって患者の増減が大きいということもありますので、その辺のところもご理解いただきたいと思います。</p> <p>それで、三沢の病院が平成22年11月に開院し、こちらのほうに移転新築し</p>

	<p>たんですけれども、この前の、これは9月4日の東奥日報でございますけれども、こちらのほうの新聞報道では、種々の状況等が載っておりました。その中で、診療所実績では、延べ患者数で4.2%減っているということも載っておりました。それで、特に外科の患者が1万1,626人から6,433人に減ったということでも載っておりましたので、どうしても、特にうちの入院患者等にすると、大病院志向というんですかね。実際、うちのほうに来て見てみるんですけれども、実際、手術とかということになると市民病院のほうに行きたいというふうなこともあったりもしておりますので、その辺のところも、どうしても患者のそういう意思というものがありますので、それも尊重していかなければならないものと思っております。</p> <p>それから、患者サービスの向上の件なんですけれども、平野委員のご質問、確かに、中のほうの委託の事務の中でもいろいろ異動はあっております。ただ、どうしても採用しても医療事務になじめないような方もおまして、退職されていくという方もここ何人か出ております。そのたびに補充はしてもらっているんですけれども、なかなか専門性が高く、経験もある程度の年数をこなさないとうまくできないということもあります。</p> <p>それから、先ほどの高齢者のサービスのことをお話ししておりましたけれども、この件に関しましては、逆にこちらのほうで患者サービスのために、ファックスコーナーのところなんですけれども、今までは9時から仕事をしてもらっておりましたけれども、これを8時半から、もうその時点で患者が来て処方箋を出しておりますので、そういうためにも30分早めてもらいたいということでお願いしたところ、それにはどうしても子供さんの学校への送り迎え等ができていけないということで、こちらの条件を飲むことができないということで退職に至ったという経緯もございます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
柏崎委員長	副町長。
副町長 (西館芳信君)	<p>2点ばかり補足させていただきます。</p> <p>まず1点は、機器の購入、それから入札という観点からですが、院内に機種選定委員会があつて、確かに先生方がいろいろ討議・検討なさるといふふうなことでありますが、入札適正執行委員会の中でも、事業担当者と委員がこれをいろいろ検討する場はあります。</p>
	<p>実際、このCTに関しましても、メーカーの名前を挙げればあれですけれども、日立、東芝、たしかそういうふうなのが最後まで残って、それぞれのよさ、それ</p>

	<p>からそうでないところというふうなところを検討して、議論は深めましたが、委員も病院のほうの事務長やってご存じのとおり、やはり、どうしてもこの医療関係というのは特殊な環境がまだにあるということで、こうして考えてみれば、委員ご指摘のように細かいところまで踏み込めなかった面がありますので、価格についても少し、何というか、お互いに本音を言って話し合えるようなものがこれから必要なのかなというふうに、委員の質問を聞いて思いましたので、それについては努力したいと思います。</p> <p>それから、もう1点、患者数の減でございますが、これにつきましては、担当者が今、大病院志向というふうなことを話しました。確かにそのとおりでございます。百石病院、今はおいらせ病院ということで3億円をかけてリフォームしましたけれども、その間に、例えば、八戸市民病院、三沢の市立病院新築、それから、日赤は改修、労災も結構な病院の改修等しております。そういうふうな大病院がしたというふうな中で、それに対抗するだけの規模だとか設備だとかスタッフ、そういうのが当然、何というか、そういう体制ではないわけですので、いかにしてそういうのをうずめて、地域のサービス、地域医療を果たしていけるかという観点から、やはり、私どものオリジナリティ、ユニークな事業の展開というサービスというものをより一層心がけていかなければならないのかなというふうに思いますので、鋭意努力して頑張りたいと思います。</p> <p>以上、2点でございます。</p>
柏崎委員長	平野委員。
平野副委員長	<p>経営については、細心の注意を払って当たっていただきたいというふうに要望します。</p> <p>最後になりますけれども、平成26年に公営企業法だったか医療法だかの改正が見込まれているというふうなこと、それによって、今までの病院経営とまたより厳しくなるというふうな見方を聞きました。来年4月というふうなことであれば、もう既に検討する時期になっているし、いろいろな形で情報の先取りをして、その改正内容をどういうふうな病院経営に影響するのか検討されているかと思えますけれども、事務長から最後にお聞きしたいと思います。</p>
柏崎委員長	病院事務長。
病院事務長 (山崎悠治君)	<p>それではお答えいたします。</p> <p>公営企業法の改正なんですけれども、これは地域の自主性及び自立性を高める</p>

	<p>ための改革の推進を図る関係法令の整備に関する法律というものがあまして、これは平成23年5月に公布されました。それで、公営企業法の一部が改正されましたけれども、まず1つは、資本制度の見直しであります。これは、利益の処分とか資本剰余金の処分、これが法律上、規定がなくなって、議会の関与によってそれぞれ自由に経営を判断していくというふうな制度に変わってきております。</p> <p>2つ目は会計基準の見直しでございますけれども、この基準は、平成26年度の予算、それから決算、これから適用となりますので、今年度末までにはその体制に持っていくように整備していかなければなりません。</p> <p>そこで、会計システムも今、新しいこれに対応したような機種を導入していくように契約もしておりますし、それから、その運用に当たっても公認会計士、会計事務所のほうと契約をして、その制度になじむというんですか、制度に対応できるような形で準備を進めているところでございます。</p> <p>まず、大きく影響してくるといえるのは資本制度の見直しということになりまして、今まで国からいただいていた国庫補助金なんかは資本剰余金ということになるんですけれども、これらのものが減るといようなこともありますので、その仕組みが変わってきますので、それに対応した運営をしていきたいと、今調整中でございますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>
柏崎委員長	平野委員。
平野副委員長	<p>さっき話をしたように、資本制度の見直しによって今までは経営的に余りあらわれてこない部分が、今度大きく左右することになりますので、他の病院についても大変だというふうな危機感を持っています。</p> <p>この制度については、いろんな意味で仕組み、そういうふうなものをきちっと把握しながら、新年度のスタートについては万全を期して当たっていただきたいと、要望して終わります。</p>
柏崎委員長	松林委員。
松林義光委員	<p>簡単に質問します。</p> <p>今患者が減っております。旧百石町民も、私は人口が減っていると思っております。今後の経営、かなり厳しいものがあるかと思っておりますけれども、ぜひ頑張って赤字にならないように頑張ってもらいたいと思っております。そこは答弁要りません。</p> <p>そして、あと2点は、医療ミスですか、裁判を私は今やっているとと思っております。</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>れども、この裁判の行方、結審の見通しで、平成24年度には裁判費用がどのくらい、幾らかかったのか教えてもらいたと思います。</p> <p>それから、監査委員の意見書の中にありますけれども、病院医療費700万円近く滞納があります。なぜ医者にかかって滞納になるのか、私には理解できません。</p> <p>それで、その滞納になる要因は何なのか。そして、平成24年度も100万円余り滞納になっております。これは、今後、どのような方策で回収しようとしているのか、その点お伺いしたいと思います。簡単で結構です。</p>
<p>病院事務長 (山崎悠治君)</p>	<p>病院事務長。</p> <p>それではお答えいたします。</p> <p>まず、裁判の状況なんですけれども、今、最近では9月9日、この前の月曜ですけれども、第15回の弁論準備が行われました。</p> <p>それで、今度、いろいろと証拠調べはしてきましたけれども、証人尋問に今度入っていくことになりました。裁判官も新しく変わりましたし、今度、10月23日以降11月にかけて、原告、それから被告それぞれの証人尋問、うちのほうとしてはかかわりがあった院長初め4人の先生がたからの証人尋問が始まります。</p> <p>それが終わりますと、またいろいろと裁判官のほうで調整があると思いますが、一旦それが終わった段階で、和解の勧告をしてくるものと思います。</p> <p>それが、双方和解を受け入れられないということになりますと、「(「簡単でいい」の声あり)見通しとしましては、来年2月か3月ごろには判決が出るものと思っております。</p> <p>裁判費用なんですけれども、これは全て加入している保険で賄っておりますが、約200万円ほど支払いしております。これはあくまでも弁護士に対する費用でございますので、あとは裁判の結果によっては損害賠償ということになりますが、現在はそのぐらいの金額です。</p> <p>それから、滞納をどのようにやっていくか。特に平成24年度に関しましてなんですけれども、平成24年度につきましては、3月で締めた医療費が残っておりますので、それが翌月4月から順次入ってくるようになりますので、平成24年度に関しましては、そうそう大きな滞納はないんですけれども、以前の滞納といたしましては、残っているものとしましては、かかった時点では生活保護ではなかったんですけれども、退院してから生活保護になったものとか、あるいは高額な医療費を支払い、保険の適用がきかなかったというんですか。要するに資格</p>

	<p>証等を発行されている方で、全額を支払わないと現物給付が受けられないというふうな方もございました。</p> <p>滞納の1つの方策といたしましては、高額療養費の貸し付け制度を利用させていただいて、特に平成18年度の高額滞納者の2人に関しましては、約220万円ほど納入をいただいております。</p> <p>なかなか滞納に関しては厳しい状況が続いておりますが、これも1つの病院経営にかかわる大きな要因になりますので、これからも滞納が少しでも減るような努力を重ねていきたいと思っておりますので、ご理解のほど、よろしく願いいたします。</p>
<p>柏崎委員長 (委員席)</p>	<p>ほかに質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長 (委員席)</p>	<p>なしと認め、収入、支出全般についての質疑を終わります。</p> <p>以上で認定第10号の質疑を終わります。</p> <p>これから討論を行います。</p> <p>討論ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長 (委員席)</p>	<p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>本案は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、認定第10号は、原案のとおり認定すべき旨、本会議において報告することに決しました。</p> <p>以上で、決算特別委員会に付託されました認定第1号から認定第10号までの10認定議案の審査は全て終了いたしました。</p> <p>これで会議を閉じます。</p> <p>一言、お礼を申し上げます。</p> <p>決算特別委員会の議案の審査と議事進行につきましては、委員各位並びに平野副委員長の特段のご協力によりまして、無事終えることができました。心から御礼を申し上げます。どうもありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、決算特別委員会を閉会いたします。</p> <p style="text-align: right;">(閉会時刻 午後 0時23分)</p>

事務局長 (袴田光雄君)	修礼を行いますので、ご起立願います。 礼。
-----------------	--------------------------

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

平成 25 年 12 月 5 日

決算特別委員長..... 柏 崎 利 信

決算特別副委員長..... 平 野 敏 彦